

# 令和6年11月 部活動のあり方検討特別委員会

## 本市の地域移行の課題解決に向けての諸方策について

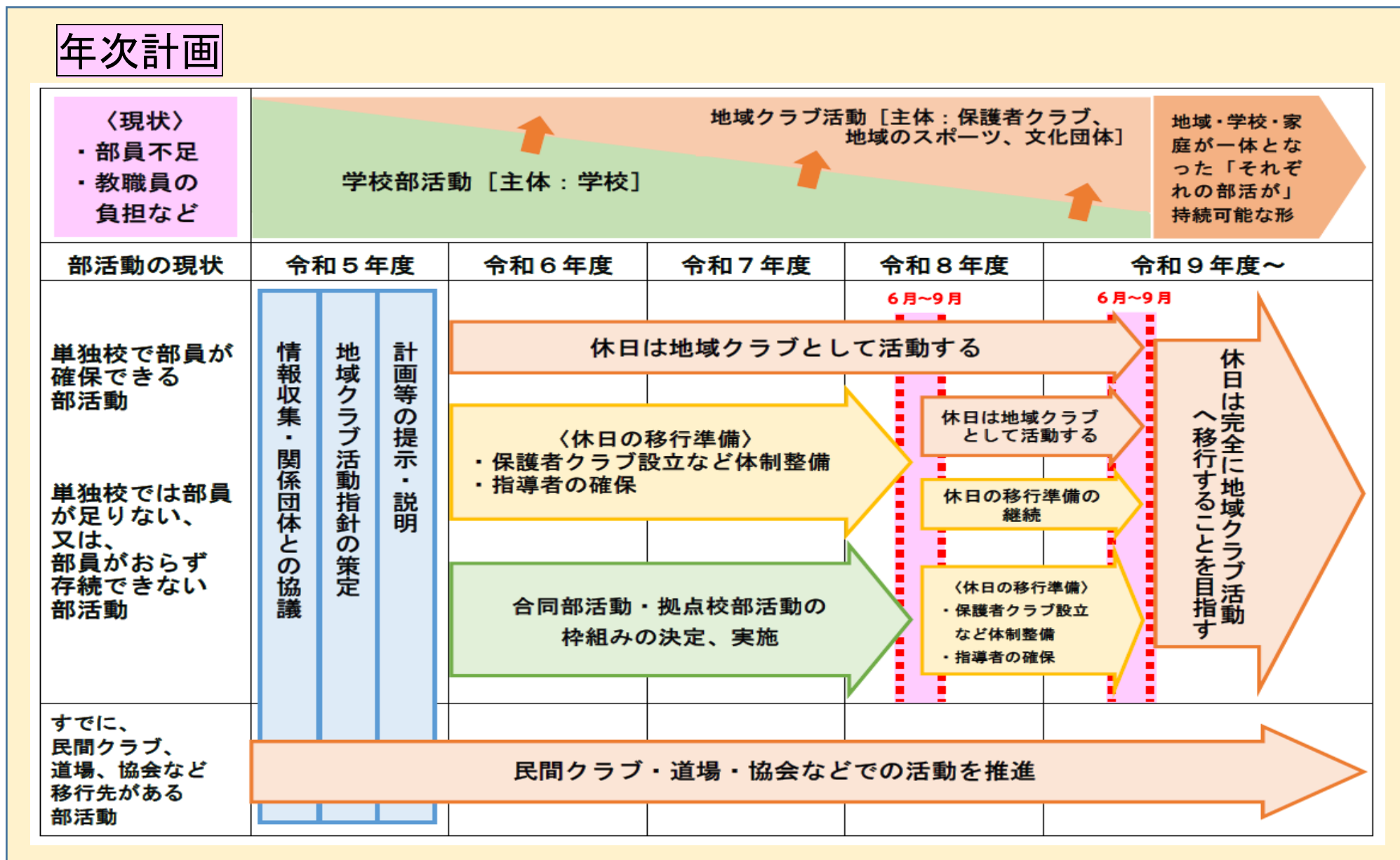
	目次	ページ
1	地域移行の現状	2～5
2	課題に対する諸方策	6～14
3	その他	15

教育委員会・市民生活部

令和6年11月

# 1 地域移行の現状

## (1) スケジュールについて



# 1 地域移行の現状

## (2) 地域クラブ活動の認定数 (11月1日現在)

### ア 運営主体

- ・ 地域クラブ 10 団体 (保護者 8、指導者 1、NPO 法人 1)

種 目	性別	主な活動場所	活動日	運営主体	
バスケットボール	男女	日見中	休日・平日	指導者	
	男	琴海中	休日・平日	保護者会	
	女		山里中、他	休日・平日	NPO 法人 (保護者会)
			小ヶ倉中	休日・平日	保護者会
			橘中	休日・平日	保護者会
			横尾中	休日・平日	保護者会
			西泊中	休日・平日	保護者会
剣 道	男女	横尾中、横尾小	休日・平日	保護者会	
		三和中	休日・平日	保護者会	
柔 道	男女	三重中、他	休日・平日	保護者会	

# 1 地域移行の現状

## (3) 合同部活動の認定数 (11月1日現在)

### 合同部活動 (11 団体)

種目	性別	参加校数	学校名	参加生徒数
軟式野球	男	3校	淵中・福田中・小江原中	18名
		4校	桜馬場中・片淵中・長崎中・小島中	35名
		2校	日見中・橘中	20名
		2校	西浦上中・山里中	23名
バレーボール	女	2校	桜馬場中・長崎中	18名
バスケットボール	男	2校	福田中・小江原中	18名
		2校	戸町中・深堀中	18名
サッカー	男女	2校	小島中・梅香崎中	28名
		2校	香焼中・野母崎中	18名
ハンドボール	女	2校	小島中・小ヶ倉中	10名
ソフトテニス	女	2校	岩屋中・横尾中	7名

# 1 地域移行の現状

## (4) 拠点校部活動の認定数 (11月1日現在)

### 拠点校部活動 (15名)

種目	拠点校	在籍校	活動日	人数
卓球 (女)	日吉中	茂木中	休日・平日 休日・平日の一部	2名
剣道	桜馬場中	梅香崎中	休日・平日	1名
水泳	土井首中	香焼中	休日・平日 休日・平日の一部	3名
軟式野球	土井首中	香焼中	平日	1名
	小島中	大浦中	休日・平日	3名
ハンドボール	小島中	岩屋中	休日・平日	1名
サッカー	香焼中	深堀中	休日・平日	1名
バレーボール	茂木中	大浦中	休日・平日	1名
オーケストラ	桜馬場中	片淵中	休日・平日	2名

## 2 課題に対する諸方策について

### 課題

#### ○指導者・運営主体の確保

- ・ 指導者エントリーシステムの登録者等の確保
- ・ 保護者会を除く運営団体の確保
- ・ 保護者会が運営主体となる団体の運営面での保護者負担の軽減

#### ○活動場所の確保と保護者負担の軽減

- ・ 学校施設を使用する場合の鍵の管理や施錠
- ・ 希望に近い日時 of 場所の確保
- ・ 会場使用料、指導者への謝金等に係る費用の負担
- ・ 学校以外の会場を確保するための事務手続きの負担

#### ○その他

- ・ 指導者の資質向上の機会の確保
- ・ ゴール等の大型器具や楽器等の高額備品の使用・修繕・購入等

## 2 課題に対する諸方策について

### 指導者・運営主体の確保

#### 課題1 指導者エントリーシステムの登録者等の確保

指導者登録者数	県のシステム登録者数	長崎市の登録者数
運動部 (R6. 8 月)	210 人 (長崎市で指導可能) 54 人①	27 人③ (県と重複1人を除く) (※課外クラブサポーターとの重複9人を除く)
文化部 (R6. 5 月)	145 人 (長崎市で指導可能) 128 人②	
合計	①+②+③ 209 人	

R6 部活動数	339 部	顧問 339 人
R6 課外クラブサポーター数	R6. 11. 1 現在	255 人
現在の指導者数	顧問とサポーター合計	594 人
部活動数の減少とクラブの統合を想定し約 20%の減少を見込む	594 人の約 80%	必要数④ 476 人



継続可の課外クラブサポーター数 (4 月調査)	255 人中 146 人	146 人
指導可の教職員数 (4 月調査)	339 人の約 3 割	104 人
確保できる指導者数	顧問とサポーター計	確保数⑤ 250 人
不足見込み数 (「必要数」と「確保数」の差)	④-⑤ 226 人	

## 2 課題に対する諸方策について

### 方策 1

- ・ エントリーシステムの登録者を増やすため、チラシの作成や配付、HP、SNS、広報ながさきへの掲載等を実施し、広く市民へ呼びかける。
- ・ 部活動指導員や課外クラブサポーターに対し、地域クラブ移行後の指導について働きかけを行う。
- ・ 指導者の補助的な立場としてでも人材を確保できるように、競技団体や大学等との連携を行う。
- ・ 各地区での指導者の必要数を明らかにし、登録者とマッチングを行う。

### 指導者の確保に向けたこれまでの取組

- ホームページ・広報ながさきへの掲載
  - ・ 長崎市の地域移行の方針・進め方
  - ・ 地域移行についての説明動画の配信
  - ・ 部活動地域移行通信での最新情報公開
  - ・ 長崎市地域クラブの認定方法と認定クラブ一覧
  - ・ 地域連携（合同部活動・拠点校部活動）の実施要項
  - ・ 指導者の登録依頼
- 競技団体や大学等との連携
  - ・ 総合型スポーツクラブや長崎市スポーツ協会との情報交換
  - ・ 長崎大学との情報交換



## 2 課題に対する諸方策について

### 指導者・運営主体の確保

#### 課題2 保護者会を除く運営団体の確保

#### 方策2

- ・ 保護者会以外の運営団体として想定される、総合型地域スポーツクラブ、スポーツ少年団、各競技団体、民間クラブ等との情報交換の機会を設定し、地域クラブの運営主体としての参画を促す。

#### 運営団体の確保に向けたこれまでの取組

- ・ 総合型地域スポーツクラブや市スポーツ協会、プロスポーツクラブとの情報交換
- ・ 関係者協議会における意見交換

## 2 課題に対する諸方策について

### 指導者・運営主体の確保

**課題 3** 保護者会が運営主体となる団体の運営面での保護者負担の軽減

### 方策 3

- ・ 保護者会が運営主体となる団体の保護者負担が軽減されるよう、「(仮称) 地域クラブ運営の手引き」を作成し、施設の予約方法や経理処理、保険の加入等についてマニュアル化を行う。
- ・ よくある質問集 (FAQ) を作成し、分かりやすい解説をすることで運営面に対しての支援を行う。

## 2 課題に対する諸方策について

### 活動場所の確保と保護者負担の軽減

**課題 4** 学校施設を使用する場合の鍵の管理や施錠

#### 方策 4

- ・ 校舎等の鍵の管理について、スマートロック等の導入検討を進める。

**課題 5** 希望に近い日時での場所の確保

#### 方策 5

- ・ これまで部活動で利用してきた時間帯（平日：放課後～19：30、休日：昼間の時間帯）の学校施設を活用することにより、従来どおりの時間帯での場所の確保が可能となる。
- ・ 引き続き学校施設を利用することにより、費用の負担を軽減する。

⇒ 学校施設の19：30～21：30の時間帯については、部活動利用者以外の多くの一般利用者がスポーツをする場として活用していることから、調整・工夫が必要となる。

## 2 課題に対する諸方策について

### 中学校体育施設の開放状況（対象校 30 校）

項目	回数	時間	R5 年度利用人数 (団体数)	使用料
体育館	日・祝・年末年始 以外の日	19時30分～21時30分	延べ 124,707 人 (延べ 11,811 団体)	1,046 円 (バスケット1面)

### 橘中学校体育館の抽選状況

(当選率の推移)

令和5年度：89.3% ⇒ 令和6年度：54.1%

※ 令和6年度は令和6年8月末現在

(必要となる面数)

	全面	半面	1/4 面
競技名	バスケットボール	バレーボール	バドミントン ミニバレーなど



学校ごとに面割を工夫するなど、優先的な利用を検討する。

## 2 課題に対する諸方策について

### 活動場所の確保と保護者負担の軽減

**課題 6** 会場使用料、指導者への謝金等に係る費用の負担  
学校以外の会場を確保するための事務手続きの負担

### 方策 6

- ・ 経済的困窮世帯に対する支援については、国・県の動向を注視しながら、外部からの財源も含め、市の支援について検討を行う。
- ・ 負担軽減の資金として、企業版ふるさと納税やクラウドファンディング型ふるさと納税の活用を検討する。
- ・ 公共施設案内・予約システムの登録を推奨するとともに、スケジュール管理やキャッシュレス決済で会費の徴収などができる管理アプリを紹介する。

## 2 課題に対する諸方策について

### その他

**課題 7** 指導者の資質向上の機会の確保

#### 方策 7

- ・市独自の研修会を実施するとともに、県やスポーツ協会と連携し主催する研修会の情報提供と周知を図り、積極的に参加を呼びかける。

**課題 8** ゴール等の大型器具や楽器等の高額備品の使用・修繕・購入等

#### 方策 8

- ・地域クラブで使用するゴール等の大型器具は、学校や社会体育での利用を考慮し、必要に応じ、市において調達する。
- ・楽器等の各学校の高額備品については、これまでのように学校への予算配当を継続し、必要に応じて市において調達し、市認定クラブの使用を認めることとする。

### 3 その他

#### ○今後の実施・検討事項

- 【周知の徹底】
  - ・各学校を回っての個々の部活動の状況把握と周知の徹底
  - ・保護者と児童生徒向けのアンケートの実施
- 【組織の設置】
  - ・部活動の地域移行の窓口となる組織設置の検討
- 【指針の見直し】
  - ・様々な意見を踏まえた指針の適宜見直し
- 【大会参加】
  - ・中学校総合体育大会の参加のあり方の協議